

令和7年度年報

2026.8

群馬県立土屋文明記念文学館

2025

目次

1 沿革	
(1)沿革	1
(2)令和7年度の主なできごと	2
2 施設概要	4
3 管理運営	
(1)組織及び職員	4
(2)利用者数	5
(3)歳入歳出(決算)の状況	6
(4)修繕	6
(5)備品	7
4 展示活動	
(1)常設展示	8
(2)企画展示	11
(3)移動展	14
(4)ミニ展示	17
(5)特別展示	17
5 教育普及活動	
(1)企画展記念講演会	18
(2)企画展関連行事	19
(3)土屋文明記念文学講座	20
(4)特別イベント	20
(5)群馬県文学賞	
受賞記念講演会・受賞作品展.....	21
(6)文明先生推し活講座	21
(7)学校教育との連携	22
(8)地域との連携	24
(9)子ども向け事業	25
(10)ボランティア活動	26
(11)自主学習会	27
(12)広報活動	27
(13)刊行物の発行	30
6 資料収集・調査研究	
(1)資料収集	31
(2)資料の整理・保存管理	31
(3)資料貸出	32
(4)資料撮影承認	32
7 利用案内・位置図・交通案内	
(1)開館時間	33
(2)休館日	33
(3)観覧料	33
(4)施設利用料	33
(5)位置図	34
(6)交通案内	34

1 沿革

(1)沿革

1981(昭和56)年	10月	県内文学団体により近代文学館設立期成会議結成
1983(昭和58)年	4月	群馬県教育委員会が昭和58年度予算に文学館建設調査費計上
1985(昭和60)年	12月	近代文学資料等調査検討委員会(20名)を設置
1988(昭和63)年	2月	近代文学資料等調査員(12名)を設置
1990(平成2)年	12月	土屋文明死去(8日)
1991(平成3)年	4月	近代文学資料室を設置
同	7月	土屋文明遺族より群馬町に資料の寄附申込み
同	同	群馬県生涯学習センター内に土屋文明資料展示室設置
同	11月	群馬町から県に「土屋文明記念館」建設の陳情
1992(平成4)年	4月	群馬町に記念文学館建設調整室設置
1993(平成5)年	1月	建設推進委員会(9名)を設置
同	3月	文学館建設基本構想策定
同	4月	群馬県教育委員会文化振興課に建設準備係(5名)設置
1994(平成6)年	2月	都市計画公園事業の大臣認可
同	3月	建築実施設計
同	4月	文学資料整理作業室を県立図書館内に設置
同	12月	上毛野はにわの里公園占用許可
同	同	建築工事開始
1995(平成7)年	12月	建築工事終了
1996(平成8)年	2月	文学資料の移送搬入
同	3月	展示工事完了
同	4月	群馬県立土屋文明記念文学館設置及び管理に関する条例施行
同	同	群馬県立土屋文明記念文学館組織発足
同	7月	伊藤信吉館長就任(※空白期間は群馬県教育委員会事務局幹部職員が兼務)
同	同	開館(11日)
1998(平成10)年	5月	天皇皇后両陛下下行幸啓(8日)
1999(平成11)年	6月	博物館登録(3日)
同	8月	『群馬文学全集』全20巻刊行開始(～平成14年度)
2002(平成14)年	8月	伊藤信吉館長死去(3日)
2006(平成18)年	7月	開館10周年記念展「岸田衿子 野の花の道～北軽井沢より～」
同	10月	開館10周年記念展「萩原朔太郎・多田不二・岡田刀水士－神秘主義の系譜－」
同	12月	開館10周年記念展「ぐんま文学の森－目で見える群馬の近代文学年表－」
2008(平成20)年	8月	秋篠宮殿下、同妃殿下、眞子内親王行啓(7日)
2012(平成24)年	3月	入館者50万人達成
2016(平成28)年	10月	開館20周年記念展「角田柳作とドナルド・キーン－群馬から世界へ－」
2020(令和2)年	4月	群馬県教育委員会から群馬県知事部局に移管 特別館長を置く
2021(令和3)年	7月	開館25周年記念展「宮沢賢治－みんなのほんとうのさいわいをさがしに－」
2026(令和8)年	1月	博物館再登録(30日)

(2)令和7年度の主なできごと

- 4 月 19 日 第 125 回企画展「百花繚乱！浮世絵×文学」オープン
同 展示解説①
- 4 月 20 日 記念講演会「幕末浮世絵の盛況 ― 北斎、広重、国芳の活躍」(内藤正人氏)
- 5 月 18 日 展示解説②
- 5 月 30 日 渋川市立渋川北小学校の児童が校外学習で来館
- 5 月 31 日 ワークショップ「浮世絵多色刷り体験」①(群馬県立歴史博物館職員)
同 館内喫茶室「BROWN WORKS COFFEE & Cafe 群馬町店」閉店
- 6 月 1 日 ワークショップ「浮世絵多色刷り体験」②(群馬県立歴史博物館職員)
- 6 月 7 日 記念講演会「江戸の版元と絵師 ― 『広重ぶるう』余話」(梶よう子氏)
- 6 月 11 日 高崎市立車郷小学校の児童が校外学習で来館
- 6 月 15 日 展示解説③
- 6 月 18 日 渋川市立伊香保小学校の児童が校外学習で来館
- 6 月 20 日 高崎市立上郊小学校の児童が校外学習で来館
- 6 月 22 日 第 125 回企画展「百花繚乱！浮世絵×文学」クローズ
- 6 月 30 日 燻蒸(常設展示室)休館(7 月 8 日まで)
- 7 月 12 日 高崎北部三館連携協議会三館スタンプラリー開始(8 月 25 日まで)
同 新島学園短期大学の学生が展示観覧で来館
- 7 月 19 日 第 126 回企画展「シゲリカツヒコのえほん ふでさきに おもいをこめて」オープン
同 展示解説①
- 8 月 2 日 ワークショップ「つけづめペイント」(シゲリカツヒコ氏)
- 8 月 3 日 絵本よみきかせ①(六郷よみきかせの会)
- 8 月 9 日 展示解説②
同 高崎健康福祉大学高崎高等学校の生徒が展示観覧で来館
- 8 月 11 日 おはなしの会①(たこさんのおはなしや／北部小おはなしの会)
- 8 月 15 日 ワークショップ「展示解説&絵本朗読&サイン会」①(シゲリカツヒコ氏)
- 8 月 17 日 おはなしの会②(群馬県紙芝居研究会／EBA の会)
- 8 月 25 日 群馬県立太田東高等学校の生徒がインターンシップで来館(8 月 27 日も)
- 8 月 31 日 絵本よみきかせ②(六郷よみきかせの会)
- 9 月 1 日 ミニ展示「やなせたかし 詩の世界」オープン(10 月 20 日まで)
- 9 月 14 日 ワークショップ「しりとりにシルエットクイズ&絵本朗読会」(シゲリカツヒコ氏)
- 9 月 15 日 絵本よみきかせ③(六郷よみきかせの会)
- 9 月 23 日 展示解説③
- 10 月 5 日 ワークショップ「展示解説&絵本朗読&サイン会」②(シゲリカツヒコ氏)
- 10 月 6 日 第 124 回企画展「シゲリカツヒコのえほん ふでさきに おもいをこめて」クローズ
- 10 月 10 日 ミュージアムショップの会主催 新・保渡田 2000 番地コンサート「爽籟～五つの声 彩るハーモニー～」

- 10月19日 第7回土屋文明記念文学講座「言葉の不思議」(穂村弘氏)
同 特別展示「穂村弘短歌色紙」(この日のみ)
- 10月25日 第127回企画展「愛の手紙－友人・師弟篇－」オープン
同 展示解説①
- 10月28日 特別展示「『古今和歌集』『新古今和歌集』写本」(この日のみ)
同 おはなしの会③(苺ばたけ／萌えぎの会)
- 11月1日 記念講演会「文豪たちの友情往来:手紙で辿る心の絆」(石井千湖氏)
同 高崎健康福祉大学高崎高等学校の生徒が展示観覧で来館
同 新島学園短期大学の学生が展示観覧で来館
- 11月9日 展示解説②
- 11月10日 高崎市立群馬中央中学校の生徒が職場体験で来館(11月12日～14日も)
- 11月12日 群馬県フェア(イオンモール高崎)出展(11月16日まで)
- 11月14日 高崎市立上郊小学校の児童が施設見学で来館
- 11月17日 高崎市立中尾中学校の生徒が職場体験で来館(11月19日、20日も)
- 11月23日 ワークショップ「文学館でタイムカプセル」
同 展示解説(臨時①)
- 12月4日 群馬県立高崎東高等学校の生徒がインターンシップで来館(12月5日も)
- 12月7日 ワークショップ「草木染和紙でオリジナルカードをつくろう」(山崎梢氏)
同 展示解説(臨時②③)
- 12月13日 特別展示「小泉八雲と文学者の怪談」オープン(3月19日まで)
- 12月14日 展示解説③
- 12月18日 群馬県高等学校教育研究会国語部会主催 第62回群馬県高等学校作文コンクール表彰式
- 12月21日 クリスマスロビーコンサート(神戸圭介氏、小林久美子氏、神戸道子氏)
同 展示解説(臨時④)
- 1月12日 高校生によるお茶席体験(協力:群馬県立渋川女子高等学校茶道部)
同 展示解説(臨時⑤)
- 1月17日他 「群馬デジタルミュージアム 白昼のナイトミュージアム」に所蔵資料をデジタル展示(群馬県立歴史博物館他にて)
- 1月18日 第127回企画展「愛の手紙－友人・師弟篇－」クローズ
- 1月24日 高崎経済大学の学生が施設見学で来館
- 2月7日 特別展示「『古今和歌集』写本」(2月20日まで)
- 2月14日 ミニ展示「第63回群馬県文学賞受賞作品」オープン(3月1日まで)
- 2月21日 特別展示「『新古今和歌集』写本」(3月8日まで)
- 2月23日 第63回群馬県文学賞受賞記念講演会
- 2月25日 高崎市立八幡中学校の生徒が校外学習で来館
- 3月15日 第8回土屋文明記念文学講座「賢治と朔太郎、くらべ読み」(小池昌代氏)
- 3月17日 方竹の庭にアララギ(イチイ)を植栽
- 3月30日 常設展示室リニューアル完了

2 施設概要

(1)設置の目的

土屋文明の業績を記念し、文学に関する県民の理解を深め、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する。

(2)設立

- ・平成8年7月11日開館
- ・平成11年6月3日博物館登録(令和8年1月30日再登録)

(3)所在地

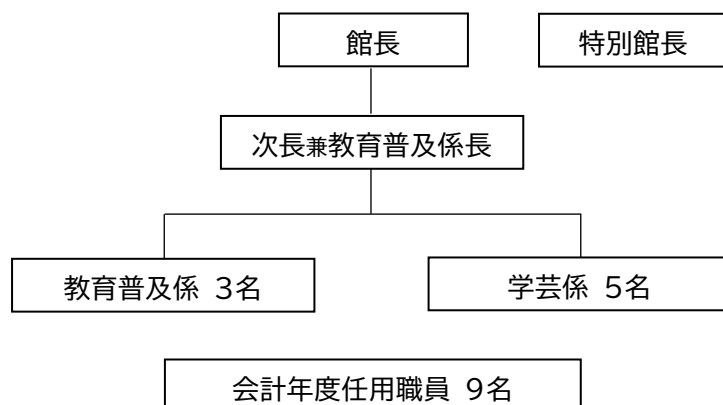
群馬県高崎市^{ほ ど た}保渡田町 2000 番地^{か み つ け の}(上毛野はにわの里公園内)

(4)設備等

- ・用地面積 2,465.61 m²
- ・建物構造 鉄筋コンクリート造り2階建て
- ・建物面積 延床面積 3,171 m²
- ・主要施設 常設展示室(396.8 m²)、企画展示室(279.5 m²)、映像展示室(65.9 m²)
閲覧室(62.1 m²)、研修室(289.1 m²)、創作室(和室)(43.6 m²)
収蔵庫(152.2 m²)、書庫(222.3 m²)、レストラン、ミュージアムショップ
- ・建 設 費 約27億円
- ・駐 車 場 普通車50台、大型バス5台、身障者用2台

3 管理運営

(1)組織及び職員



(2)利用者数

① 入館者数・館外事業参加者数

区分	有料観覧者								無料観覧者						観覧者計 A	教育普及事業			A+B+C	その他施設利用 D	計 A+B+C+D
	一般（個人）		大高（個人）		一般 （団体）	大高 （団体）	共通 パス	小計	中学 以下	障害者	減免	引率 介護	招待	小計		館 内 B	館 外 C	計			
	通常	割引	通常	割引																	
年間開館日数 267日間	5,311	1,021	219	5	0	0	320	6,876	1,165	594	977	482	1,205	4,423	11,299	2,875	26,756	29,631	40,930	2,690	43,620

<企画展>観覧者に常設展のみの観覧者は含まない

区分	有料観覧者							小計	無料観覧者					小計	観覧者計	教育普及事業 企画展 関連
	一般（個人）		大高（個人）		一般 （団体）	大高 （団体）	共通 パス		中学 以下	障害者	減免	引率 介護	招待			
	通常	割引	通常	割引												
第125回企画展 百花繚乱！浮世絵× 文学 4/19～6/22 56日間	2,556	631	82	0	0	0	101	3,370	392	194	67	146	529	1,328	4,698	258
第126回企画展 シゲリカツヒコのえ ほん ふでさきにお もいをこめて 7/19～10/6 70日間	1,268	171	59	3	0	0	114	1,615	867	242	71	222	353	1,755	3,370	342
第127回企画展 愛の手紙－友人・師 弟篇－ 10/25～1/18 64日間	645	103	51	0	0	0	65	864	146	91	477	59	271	1,044	1,908	225

② 閲覧室利用者

書庫資料閲覧		複写		調査相談件数			閲覧室利用者数
人数	冊数	件数	枚数	口頭	電話	文書	
26名	132冊	8件	82枚	0件	0件	0件	158名

③ レファレンス

レファレンス件数	うち土屋文明について
21件	9件

④ 貸室等利用者

企画展示室		研修室		和室		総計	
件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
－	－	12件	681人	－	－	12件	681人

⑤ ホームページアクセス数

年間アクセス件数	一日平均アクセス件数
35,770件	98件

(3)歳入歳出(決算)の状況

(単位:千円)

区分	金額	内容
歳入	3,833	
観覧料	2,872	
施設使用料	318	レストラン、研修室等
施設使用光熱水費	107	レストラン
その他	536	書籍販売等
歳出	69,982	
管理運営	52,577	文学館の維持管理
資料展示	10,510	常設展示メンテナンス、企画展示
資料購入	194	
資料管理	5,035	資料保存、情報システム
教育普及活動	1,666	文学講座等教育普及事業

常勤職員の人件費は含まない。

(4)修繕

	修繕項目	工期
1	書庫照明交換工事	3月28日～10月31日
2	1階男子トイレ自動水栓修繕工事	5月3日～6月30日
3	自家発電設備冷却水漏水修繕工事	8月8日～11月30日
4	浄化槽調整設備槽修繕工事	8月9日～11月30日
5	ポスト修繕工事	10月4日～12月19日
6	収蔵庫等空調設備更新工事	10月21日～3月17日
7	2階廊下壁面修復工事	12月26日～2月28日
8	障がい者用トイレドア更新工事	1月30日～3月31日
9	外階段花壇改修工事	1月31日～3月27日
10	吸収式冷温水機1号機送風機分解修繕工事	2月3日～3月27日
11	出入口看板補修工事	2月5日～3月27日
12	消防設備改修工事	2月10日～3月27日

(5)備品

主な購入備品

	購入備品	個数
1	移動掲示板	4
2	移動案内板	4
3	プロジェクター	1

収集対象資料(図書・雑誌・特別資料等)については別記(6.(1)資料収集 参照)。

4 展示活動

(1)常設展示

常設展示室では、歌人・土屋文明(1890－1990)の作品と生涯を紹介し、中央の「短歌の世界」コーナーでは、『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』をはじめとした貴重な資料や、『万葉集』時代から近代までの歌人たちの人形により和歌・短歌の世界に触れることができる。

① 土屋文明－その作品と生涯－

文明の作品と生涯をたどる6章で構成されている。

◇ 第1章 榛名山のふもとで育つ－『アカネ』への投稿－

土屋文明は、現在の高崎市保渡田町に生まれ、伯父夫妻に預けられて育ち、上郊尋常小学校から旧制高崎中学校に進学。蛇床子じゃしょうしの名で短歌を発表し同校の国漢教師・村上成之しげゆき へいぎよ(蛎魚)の紹介で、伊藤左千夫を頼って1909(明治42)年4月に上京した。

◇ 第2章 東京から長野へ－短歌と小説と教職と－

上京した年の秋、文明は旧制第一高等学校に入学し、東京帝国大学哲学科に進学後は、山本有三、芥川龍之介、菊池寛などの若き文豪たちと交流し井出説太郎の名で小説も発表した。東京帝国大学を卒業後、1918(大正7)年、島木赤彦の推薦で諏訪高等女学校に赴任、教育者として長野県の諏訪・松本で6年の歳月を過ごした。その後、上京して、1925(大正14)年には第一歌集『ふゆくさ』を出版した。

◇ 第3章 歌壇の中樞に一写生、破調、「思想的抒情詩」－

1930(昭和5)年3月、斎藤茂吉に代わり『アララギ』の編集発行人となり、選歌、校正、雑誌の発送、面会による歌稿の添削、歌評会の設定など精力的に会員を導いた。一方、工場や鉄道などの近代的風物を、極端な字余り、破調で表現するなどを試み、代表作の一つである第三歌集『山谷集』さんごくしゅうを出版する。

◇ 第4章 万葉集研究の継続－自らの足で感じる－

万葉集研究は、『古今和歌集』を攻撃して『万葉集』を賞揚した正岡子規の流れを汲む短歌結社「アララギ」に引き継がれる重要テーマであり、文明は戦中から戦後にかけて万葉ゆかりの地をよく歩き、その成果は4,500首以上ある『万葉集』の全歌注釈である『万葉集私注』(全20巻、1949－1956 年)に結実した。

◇ 第5章 川戸への疎開－敗戦と第二芸術論に抗して－

空襲で青山南町(現・東京都港区南青山)の家を焼失した文明は、1945(昭和20)年6月、吾妻郡原町

川戸(現・東吾妻町)に疎開した。敗戦後の虚無感や、俳句・短歌を芸術以下の「第二芸術」と貶める論調に抗し、短歌や言葉の重要性を擁護する力強い作品を生み出す。自給自足の生活を送りながら、川戸を起点として『アララギ』の復興、地方アララギ誌の創刊などに力を注いだ。

◇ 第6章 東京南青山での日々ー歌壇の最長老にー

1951(昭和26)年11月、疎開地から南青山に戻ってきた文明は、1953(昭和28)年に宮中歌会始の選者となり、『万葉集私注』で芸術院賞を受賞。晩年まで、作歌はもちろん『アララギ』や新聞の選歌にも力を注ぎ、96歳で文化勲章を受章、1990(平成2)年、満100歳で歌に捧げたその生涯を閉じた。

☆ 移築書斎

新居の設計は弟子の歌人で清水建設の設計技師であった近藤芳美が行った。引戸がついた書棚や辞典類を広げるための出窓があり、隣接するサンルームから橙や方竹、川戸の山から移し植えた木などがある庭への出入りが可能であった。当館常設展示室内には、移築した書斎とサンルームが、外光を取り込む形で復元されている。

☆ ^{ほうちく}方竹の庭

移築書斎の窓の外には、南青山の文明旧宅から24種43本の樹木が当時の配置を参考にして移植され、文明の長女・草子^{かやこ}がこれを「方竹の庭」と名付けた。方竹とは、四角に近い断面を持つ竹、シホウチクのことである。

② 「短歌の世界」コーナー

常設展示室中央部には、伝世尊寺定成筆『新古今和歌集 上』写本(鎌倉時代)をはじめ三大歌集(『万葉集』、『古今和歌集』、『新古今和歌集』)から現代短歌に至るまでの貴重な資料を展示している。

それらを取り囲む柱に、中学校、高校の教科書をベースにして当館が独自に選んだ36人の歌人の人形が埋め込まれ、それぞれ1首ずつの短歌を紹介している。

【資料点数】

200点

(①第1章15点、第2章29点、第3章26点、第4章24点、第5章29点、第6章26点、②51点)

※陶板画、書斎の遺品は含まず。

なお、常設展示については、令和8年度からのリニューアルに向けて準備をすすめた。

③ 映像展示室

1階ロビーの映像展示室では、5つのテーマから選んで映像を見ることができる。

- ・「万葉集 東歌紀行」(約 8 分)
- ・「土屋文明 ひととなり」(約 11 分)
- ・「短歌の世界 詠み継がれる歌ごころ」(約 11 分)
- ・「^{いのち}生命の讃歌－山村暮鳥・その詩と生涯－」(約 24 分)
- ・「ぶらり散策－文明と暮鳥－」(約 13 分)

また、映像展示室を企画展に合わせた映像資料上映に使用した。

企画展名	内容等
「百花繚乱！浮世絵×文学」	DVD「彫と摺－浮世絵の技法－」(高崎市タワー美術館蔵)
「シゲリカツヒコのえほん ふでさきに おもいをこめて」	シゲリカツヒコ氏 絵本スライドショー
「愛の手紙－友人・師弟篇－」	DVD 久米正雄撮影「現代日本文学巡礼」(郡山市こおりやま文学の森資料館蔵)

④ 映像モニターの設置

常設展示室前に映像モニターを設置し、「3分でわかる！土屋文明」「こんなにすごい！土屋文明」を常時上映した。

⑤ 木製看板の設置

常設展示室前に木製看板を設置し、移動展「歌人 土屋文明」を紹介した。

(2)企画展示

① 第125回企画展「百花繚乱！浮世絵×文学」

◇ 期間:令和7年4月19日(土)～6月22日(日) (開催日数56日)

◇ 趣旨・内容

江戸時代に誕生し、民衆の心を魅了した浮世絵。その中には、物語の登場人物や有名な一場面を描いたものなど、文学作品を題材にした作品が数多くある。

本展では、歌川広重の保永堂版「東海道五拾三次」全五十五図(複製含む)を、十返舎一九による滑稽本『東海道中膝栗毛』の弥次郎兵衛と喜多八の旅の様子とともに紹介した。また、葛飾北斎、三代豊国(歌川国貞)、歌川国芳、豊原国周らによる、物語や和歌など、文学を題材にした浮世絵のほか、複製技術に定評のあった高見澤木版社が手がけた喜多川歌麿、東洲斎写楽らの作品を展示した。

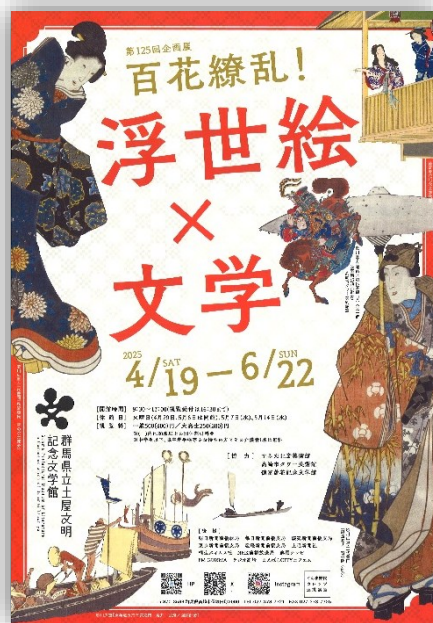
◇ 展示構成

- I.風景画の名匠 歌川広重
- II.武者絵の旗手 歌川国芳
- III.万物を描く鬼才 葛飾北斎
- IV.明治浮世絵の巨匠 豊原国周
- V.美人画の名手 喜多川歌麿
- VI.謎多き絵師 東洲斎写楽

◇ 展示資料点数:約160点

◇ 主な展示資料

- ・歌川広重「東海道五拾三次之内 荒井 渡舟ノ図」
- ・歌川広重・三代豊国「風流源氏 雪の眺」
- ・歌川国芳「小倉擬百人一首 三條右大臣」(高崎市タワー美術館蔵)
- ・葛飾北斎「六女草紙合 土佐日記」(すみだ北斎美術館蔵)
- ・葛飾北斎「北斎漫画」三編・五編(すみだ北斎美術館蔵)
- ・豊原国周「潤色三十六花撰 山辺赤人」(徳富蘆花記念文学館蔵)
- ・喜多川歌麿「歌撰恋之部 深く忍恋」(複製)
- ・東洲斎写楽「市川蝦蔵の竹村定之進」(複製)



② 第126回企画展「シゲリカツヒコのえほん ふでさきに おもいをこめて」

◇ 期間:令和7年7月19日(土)~10月6日(月) (開催日数 70日)

◇ 趣旨・内容

奇想天外な世界をリアルな描写で描き出す絵本作家・シゲリカツヒコ。

予想のつかないストーリー展開や、デジタル技術を使わずに細部まで描かれた絵は、多くの人を惹きつけている。本展では緻密に描き込まれた多数の原画を展示した。

またラフ画など、絵本創作の裏側に関わる資料も紹介し、作者が作品に込めた思いを探った。

◇ 展示構成

1.絵本作家シゲリカツヒコ

2.シゲリカツヒコの絵本

『カミナリこぞうがふってきた』

『大名行列』

『だれのパンツ?』

『なわとびょ〜ん』

『かぜがつよいひ』

『つめのくに』

◇ 展示資料点数:約 150 点

◇ 主な展示資料

・週刊誌『AERA』掲載作品原画

・テッド＝ヒューズ作/神宮輝夫訳/茂利勝彦絵『アイアン・マン 鉄の巨人』

・妖怪画

・『カミナリこぞうがふってきた』ラフ画・原画

・『大名行列』原画

・『だれのパンツ?』ラフ画・原画

・『なわとびょ〜ん』ラフ画・原画

・『かぜがつよいひ』ラフ画・原画

・『つめのくに』原画

(以上シゲリカツヒコ氏蔵)



③ 第127回企画展「愛の手紙－友人・師弟篇－」

◇ 期間:令和7年10月25日(土)～令和8年1月18日(日) (開催日数64日)

◇ 趣旨・内容

手紙は、もともと公表を前提としておらず、特定の個人に宛てて書かれたものである。そのため、文学者の素顔や本音に接することができる資料といえる。本展では、日本近代文学館所蔵の資料を中心に、近代文学者の書簡や画、愛用品などをエピソードとともに紹介した。

夏目漱石や川端康成ら文学者たちが友人や師弟に贈った言葉に触れることで、彼らの人柄や生活、作品背景等を感じてもらえる展示にした。また、郡山市こおりやま文学の森資料館所蔵の、久米正雄が撮影した芥川龍之介や菊池寛らの動画を常時放映した。

◇ 展示構成

・文学者の手紙

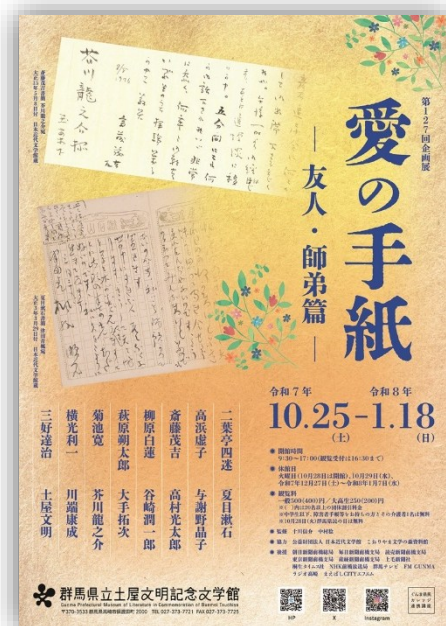
二葉亭四迷 夏目漱石 高浜虚子
与謝野晶子 斎藤茂吉 高村光太郎
柳原白蓮 谷崎潤一郎 芥川龍之介
川端康成 三好達治

・群馬ゆかりの文学者

萩原朔太郎 大手拓次 土屋文明

・文学者の吊辞

菊池寛 横光利一 川端康成



◇ 展示資料点数:約90点

◇ 主な展示資料

- ・夏目漱石旧蔵 万年筆(日本近代文学館蔵)
- ・夏目漱石書簡 津田青楓宛 大正3年3月29日付(日本近代文学館蔵)
- ・斎藤茂吉書簡 芥川龍之介宛 大正15年5月8日付(日本近代文学館蔵)
- ・芥川龍之介書簡 小穴隆一宛 大正9年10月21日付(日本近代文学館蔵)
- ・川端康成書簡 北条民雄宛 昭和10年12月20日付(日本近代文学館蔵)
- ・土屋文明書簡 久米正雄宛 大正7年2月13日付(郡山市こおりやま文学の森資料館蔵)
- ・土屋文明書簡 久米正雄宛 大正7年3月30日消印

(3)移動展

当館の展示資料を利用して、市町村、市町村施設(図書館、公民館等)、大学、学校等が主催し、当館が共催して移動展を開催した。

① 展示内容一覧(資料点数)

展示名	展示内容	資料点数
A 夢みる女性誌	明治から昭和30年代までの女性誌の変遷を通じて、女性誌のあり方、求められた女性の生き方などを紹介。	・雑誌と付録 242 点 ・パネル、バナー A3～B5判 42 点
B ぐんま文学の森	群馬県は、詩・短歌・俳句・小説など、ジャンルを問わず優れた文学者が生まれ、育ち、生活した土地柄。また、多くの文学者が訪れて優れた作品を残した。本展では、明治から現代までの群馬ゆかりの文学者 100 余名を、書籍や雑誌等の資料とともに紹介。	・約 150 点
C 紙芝居	紙芝居は、昭和5年頃に「黄金バット」「鞍馬天狗」などの街頭紙芝居として登場した日本特有の文化財。本展では、紙芝居のルーツを辿り、街頭紙芝居から教育紙芝居、外国人向け紙芝居など様々な紙芝居とその歴史を紹介。	・約 100 点
D 群馬の詩人	群馬県は、多くの近代詩人を輩出した土地柄として全国に知られている。本展では、湯浅半月、萩原朔太郎、大手拓次、山村暮鳥、萩原恭次郎ら51人の詩人について紹介。	・約 100 点 ・51 人×2 枚 ・パネル 100 cm×90 cm
E 山村暮鳥 真実に生きようとするもの	「いちめんのなのはな」のフレーズを繰り返す「風景 純銀もざい」や「雲」の詩などで知られる詩人・山村暮鳥(1884-1924)は、現在の群馬県高崎市に生まれた。病と貧困に苦しみながらも、真実に生きることを求め続けた山村暮鳥について紹介。	・約 120 点
F 詩人 大手拓次 孤独の箱のなかから	群馬県安中市磯部出身の大手拓次(1887-1934)は、大学時代、フランス象徴詩との出会いを経て自らの詩論を確立。その口語による象徴詩は北原白秋や萩原朔太郎から高く評価された。孤独に、そして一途に最上の詩を求め続けたその詩業を紹介。	・約 100 点
G 文学者の書一筆に込められた思い	文学者それぞれの書への向き合い方や、周囲からの評価などとともに、各人がしたためた短歌・俳句等の作品や書簡などを紹介することで、文学者の書の魅力に多面的に迫る。	・約 90 点

H パネル いのちのえほん	平成13年に群馬県で開催された第16回国民文化祭の事業の1つとして詩画集『いのちのえほん』が発行された。特別支援学校に通う児童生徒が制作した絵画や立体作品に、松谷みよ子や永六輔ら著名人が詩やエッセイを寄せ、作品が収録された。本展では、これら全作品を印刷パネルにして紹介。	・パネル 122 点 ・パネルサイズ 22 cm×60 cm ・アルミ枠額装済
I パネル 童謡のふるさと 石原 和三郎の世界	本展では、「うさぎとかめ」「はなさかじい」などの作詞で知られる勢多郡花輪村(現・みどり市)出身の石原和三郎を取り上げ、その多岐にわたる業績と生涯を豊富な写真と解説文(読みがな付)で紹介。	・B2パネル 19 点 ・アルミ枠額装済
J パネル 夭折の詩人 長澤延子 と中沢清	17歳と22歳という若さで亡くなった群馬県出身の2人の詩人、長澤延子(1932-1949)と中沢清(1932-1956)を取り上げる。昭和20年代に青春を過ごした2人は、それぞれ人生に真剣に向き合い、優れた詩を残した。本展では、2人の詩と人生を自筆資料(複製)を交えて紹介。	・B2パネル 12 点 ・アルミ枠額装済 ・原稿ノートの複製資料、約 30 点
K パネル 襄と八重の上州	「上毛かるた」でおなじみの新島襄(安中藩出身)とその妻・八重の群馬との関わりや、襄の精神を受け継いで各分野で活躍した人々(湯浅治郎、柏木義円、湯浅半月等)の業績を紹介。	・B2パネル 20 点 ・アルミ枠額装済
L パネル 文学者の書一筆に込め られた思い	文学者それぞれの書への向き合い方や、周囲からの評価などとともに、各人がしたための短歌・俳句等の作品や書簡などを紹介することで、文学者の書の魅力に多面的に迫る。	・B2パネル 25 点 ・アルミ枠額装済 ・紐付き
M パネル 現代歌人27人が選ぶ 土屋文明短歌	令和2年度に開催した土屋文明生誕130年没後30年記念展の特別企画として作成したもの。俵万智、永田和宏など現在活躍する27人の歌人が土屋文明の秀歌を選び解説する。	・短歌ポンジ 24 点 150 cm×30 cm ・A1パネル 27 点 解説、プロフィール
N タペストリー ぐんま文学の森	群馬県は、詩・短歌・俳句・小説など、ジャンルを問わず優れた文学者が生まれ、育ち、生活した土地柄。また、多くの文学者が訪れて優れた作品を残した。本展では、明治から現代までの群馬ゆかりの文学者 100 余名を、書籍や雑誌等の資料とともに紹介。	・タペストリー17 点 180 cm×60 cm プロフィール
O パネル 群馬の詩人	群馬県は、多くの近代詩人を輩出した土地柄として全国に知られている。本展では、湯浅半月、萩原朔太郎、大手拓次、山村暮鳥、萩原恭次郎ら51人の詩人について紹介。	・パネル 51 点 100 cm×90 cm 詩作品、プロフィール

P パネル 歌人 土屋文明	歌人土屋文明について主な業績を中心に紹介。写真やイラストを多用した親しみやすいつくりになっている。	・B2パネル 6 点 ・アルミ枠額装済
Q パネル 怪談－こわい話に花が咲く	明治大正期を中心に文豪怪談を紹介。夏目漱石、小泉八雲、芥川龍之介、谷崎潤一郎、室生犀星、宮沢賢治らの怪談作品を一部抜粋したもの。	・パネル A3～A1、変型 約 40 点(25 作品)

※ H～Q のパネル展は、学校・図書館等の一般施設でも展示できるよう工夫した。壁面展示に最適

※ A・G・H・L～Q は分割展示可能

※ D はパネルのみの展示も可

② 開催実績

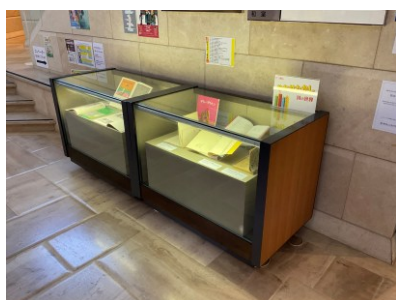
展示名	開催期間	展示会場(施設名)	入場者数
童謡のふるさと 石原和三郎の世界(パネル)	5/1～6/15	渋川市金島ふれあいセンター	1,169名
夭折の詩人 長澤延子と中沢清(パネル)	6/2～7/18	前橋市立前橋高等学校	1,358名
怪談－こわい話に花が咲く(パネル)	6/3～7/6	邑楽町立図書館	11,007名
紙芝居	7/19～9/13	山中湖文学の森 蘇峰ふれあい館	137名
怪談－こわい話に花が咲く(パネル)	7/30～9/7	芦屋市谷崎潤一郎記念館	940名
いのちのえほん(パネル)	8/14～9/30	渋川市金島ふれあいセンター	1,353名
夢見る女性誌	9/6～10/30	渋川市徳富蘆花記念文学館	728名
怪談－こわい話に花が咲く(パネル)	9/30～11/4	群馬県立前橋高等学校	300名
群馬の詩人(パネル)	11/4～11/27	邑楽町立図書館	7,506名
襄と八重の上州(パネル)	11/4～12/19	前橋市立前橋高等学校	1,090名
紙芝居	11/5～12/25	渋川市徳富蘆花記念文学館	589名
合計			26,177名

(4)ミニ展示

展示名	開催期間	内容	点数
やなせたかし 詩の世界	9/1～10/20 ※10/6までの 日程を延長した	やなせたかしの自費出版の第一詩集『こどもごころの歌』や、編集長を務めた季刊誌『詩とメルヘン』等を展示した。	8点
群馬県文学賞受賞作品展	2/14～3/1	令和7年度第63回群馬県文学賞受賞者6名の作品を展示した。	10点

(5)特別展示

展示名	開催期間	内容	点数
穂村弘短歌色紙	10/19	第7回土屋文明記念文学講座開催に合わせて、講師・穂村弘氏の短歌色紙(平成9年度特別展出品作品)を常設展示室に展示した。	1点
『古今和歌集』・『新古今和歌集』写本	10/28	群馬県民の日に、常設展示室にて公開した。	2点
小泉八雲と文学者の怪談	12/13～3/19 ※1/18までの 日程を延長した	放送中のNHK連続テレビ小説「ばけげん」にちなみ、小泉八雲をはじめ文豪たちの怪談や怖い話に関する資料を展示した。	7点
『古今和歌集』写本	2/7～2/20	『古今和歌集』写本(室町時代)を常設展示室にて公開した。	1点
『新古今和歌集』写本	2/21～3/8	『新古今和歌集』写本(鎌倉時代中期～後期)を常設展示室にて公開した。	1点



やなせたかし 詩の世界



小泉八雲と文学者の怪談

5 教育普及活動

(1) 企画展記念講演会

企画展名	開催日	演題・講師	参加者数
第 125 回企画展 「百花繚乱！浮世絵×文学」	4/20(日)	「幕末浮世絵の盛況 — 北斎、広重、国芳の活躍」 内藤正人氏(慶應義塾大学教授、国際浮世絵学会常任理事)	86名
	6/7(土)	「江戸の版元と絵師 — 『広重ぶるう』余話」 梶よう子氏(作家)	109名
第 127 回企画展 「愛の手紙－友人・師弟篇－」	11/1(土)	「文豪たちの友情往来:手紙で辿る心の絆」 石井千湖氏(書評家、ライター)	59名
合計			254名



内藤正人氏(4/20)



梶よう子氏(6/7)



石井千湖氏(11/1)

(2)企画展関連行事

企画展名	開催日	行事・講師等	参加者数
第 125 回企画展 「百花繚乱！浮世絵×文学」	5/31(土)	ワークショップ「浮世絵多色刷り体験」① 群馬県立歴史博物館職員	33名
	6/1(日)	ワークショップ「浮世絵多色刷り体験」② 群馬県立歴史博物館職員	30名
第 126 回企画展 「シゲリカツヒコのえほん ふ でさきに おもいをこめて」	8/2(土)	ワークショップ「つけづめペイント」 シゲリカツヒコ氏	31名
	8/3(日)	絵本よみきかせ① 六郷よみきかせの会	20名
	8/15(金)	ワークショップ「展示解説&絵本朗読&サイン会」① シゲリカツヒコ氏	108名
	8/31(日)	絵本よみきかせ② 六郷よみきかせの会	23名
	9/14(日)	ワークショップ「しりとりにシルエットクイズ&絵本朗 読会」 シゲリカツヒコ氏	73名
	9/15(月・祝)	絵本よみきかせ③ 六郷よみきかせの会	30名
	10/5(日)	ワークショップ「展示解説&絵本朗読&サイン会」② シゲリカツヒコ氏	110名
第 127 回企画展 「愛の手紙－友人・師弟篇 －」	11/23(日・祝)	ワークショップ「文学館でタイムカプセル」	33名
	12/7(日)	ワークショップ「草木染和紙でオリジナルカードを つくろう」 山崎梢氏(草木屋 草木染伝習所)	31名
	12/21(日)	クリスマス ロビーコンサート 神戸圭介氏、小林久美子氏、神戸道子氏	71名
	1/12(月・祝)	ワークショップ「高校生によるお茶席教室」 群馬県立渋川女子高等学校茶道部	31名
合計			624名

※職員による展示解説を除く

(3)土屋文明記念文学講座

土屋文明の業績を記念し、短歌をはじめとする様々な文学をテーマに講演会を開催した。

回	開催日	講師	演題	参加者数
第7回	10/19 (日)	穂村弘氏 (歌人、エッセイスト)	「言葉の不思議」	201名
第8回	3/15 (日)	小池昌代氏 (詩人、作家)	「賢治と朔太郎、くらべ読み」	120名
合計				321名



第7回 穂村弘氏(10/19)



第8回 小池昌代氏(3/15)

(4)特別イベント

本年度は開催なし。

(5)群馬県文学賞受賞記念講演会・受賞作品展

「群馬県文学賞」は、群馬県における文学活動の振興を図るため、1年間の文学各部門の創作活動の中から、特に優れた作品を選奨している。当館では受賞記念講演会と受賞作品のミニ展示を行った。

◇ 受賞記念講演会

令和7年度第63回群馬県文学賞受賞者6名が下記のとおり講演した。

部門	受賞者	受賞作品・演題	開催日	参加者数
短歌	設楽春樹氏	受賞作品「夜半の月」(30首) 演題「短歌との出会い」	2/23 (月・祝)	78名
俳句	飯塚柚花氏	受賞作品「痛み」(30句) 演題「出会い」		
詩	大野心響氏	受賞作品「ドライブ、羽化、季節外れの日差し、四月一日、始動」 演題「しふくの時間」		
評論	巻島隆氏	受賞作品「飛脚は何を運んだのかー江戸街道輸送網」 演題「飛脚は何を運んだのか」		
随筆	岡田正子氏	受賞作品「私と茂吉の出会いー花の歌を巡りつつ」 演題「茂吉との出会いー花の歌とその背景の悲哀」		
児童文学	まるん氏	受賞作品「ター坊の夢の大冒険」 演題「まるんの文学活動 童話を中心にして」		

◇ 受賞作品展

展示名	開催期間	内容	点数
第63回 群馬県文学賞受賞作品展	2/14～3/1	受賞者6名の短冊・図書・作品パネルを展示した。	10点

(6) 文明先生推し活講座

本年度は開催なし。

(7)学校教育との連携

① 短歌教室

著名な歌人を招き、学校で短歌についての授業を行う事業。

令和7年度「歌人が学校に！～選歌と講評から学ぶ～」実施校

学校	講師	学年	開催日	参加者数
玉村町立玉村中学校	笹公人氏	2 学年 4 学級	10/9(木)	140名
太田市立鳥之郷小学校	東直子氏	6 学年 3 学級	10/10(金)	77名
渋川市立伊香保小学校	東直子氏	5 学年 1 学級 6 学年 1 学級	10/23(木)	19名
伊勢崎市立あずま南小学校	佐佐木頼綱氏	6 学年 3 学級	10/24(金)	89名
伊勢崎市立境剛志小学校	東直子氏	6 学年 2 学級	11/7(金)	48名
長野原町立中央小学校	笹公人氏	4 学年 1 学級	11/21(金)	18名
高崎市立城南小学校	佐佐木頼綱氏	3 学年 1 学級 4 学年 1 学級 5 学年 1 学級 特別支援学級	11/28(金)	49名
渋川市立金島中学校	笹公人氏	2 学年 2 学級	12/11(木)	43名
高崎市立上郊小学校	佐佐木頼綱氏	4 学年 2 学級 5 学年 2 学級	12/19(金)	96名
合計				579名

② 学校団体等の受入 ※引率者を除く

学校	内容	開催日	人数
渋川市立渋川北小学校(6学年)	常設展・企画展観覧、 短歌の授業	5/30(金)	64名
高崎市立車郷小学校(6学年)	常設展・企画展観覧	6/11(水)	10名
渋川市立伊香保小学校(6学年)	常設展・企画展観覧、 短歌の授業	6/18(水)	12名
新島学園短期大学	常設展観覧	7/12(土)	38名
高崎健康福祉大学高崎高等学校	常設展・企画展観覧	8/9(土)	10名
群馬県立太田東高等学校(3学年)	進路学習	8/25(月)、27(水)	1名
高崎健康福祉大学高崎高等学校	常設展・企画展観覧、 講演会参加	11/1(土)	5名
新島学園短期大学	常設展・企画展観覧、 講演会参加	11/1(土)	12名
高崎市立群馬中央中学校(2学年)	職場体験	11/10(月)、12(水)~14(金)	3名
高崎市立中尾中学校(2学年)	職場体験	11/17(月)、19(水)、20(木)	2名
群馬県立高崎東高等学校(1学年)	進路学習	12/4(木)、5(金)	4名
高崎経済大学	施設見学	1/24(土)	8名
高崎市立八幡中学校	校外学習	2/25(水)	5名
合計			174名

③ 高崎市立上郊小学校との連携 ※引率者を除く

開催日	内容	学年	人数
6/20(金)	常設展・企画展観覧、短歌の授業	5 学年・特別支援学級	47名
同	常設展・企画展観覧、短歌の授業	4 学年・特別支援学級	45名
11/14(金)	施設見学	2 学年・特別支援学級	47名
合計			139名

(8)地域との連携

① 高崎北部地区三館との連携

かみつけの里博物館(高崎市立)、日本絹の里(県立)と連携。「はにわとシルクと文学の高崎北ミュージアムトライアングル」として三館イベントカレンダーを作成しロビーに掲示、三館スタンプラリー、企画関係職員情報交換会などを実施した。

また、日本絹の里及び当館において、相互の観覧料2割引券を発行した。

◇ 三館スタンプラリー

7月12日～8月25日で実施。三館を観覧した方に景品として、三館の招待券及び各館オリジナルプレゼントを贈呈した。

◇ 三館連携協議会の開催状況

開催日	議題	会場
6/5(木)	・令和6年度事業報告 ・令和7年度事業計画案	当館
11/10(月)	・企画関係職員情報交換	当館
2/20(金)	・令和7年度事業執行状況報告 ・令和8年度事業計画素案	かみつけの里博物館

② 高崎市文化協会群馬支部との連携

イベント名及び開催日	内容等
暮鳥・文明まつり 12/7(日)	高崎市市民活動センターソシアスにて開催。本年度のテーマは「歌声」。テーマに合わせた暮鳥の詩、文明の短歌を当館職員が選び、『入賞作品集』に解説を執筆。当日は会場で館長が群馬県立土屋文明記念文学館長賞の授与を行った。

③ 地域のイベント等への参加

イベント名及び開催日	内容等
ぐんま「はにわの里」夏まつり 8/17(日)	企画展と「おはなしの会」の周知及び、ぬりえを実施。参加者には当館オリジナルシールを贈呈した。
かみつけの里古墳祭り 10/18(土)	企画展と「おはなしの会」の周知及び、ぬりえを実施。参加者には当館オリジナルシールを贈呈した。
群馬県フェア 11/12(水)～16(日)	イオンモール高崎で企画展「愛の手紙－友人・師弟篇－」のポスター掲示とチラシ配架や当館のPRを行った。

(9)子ども向け事業

① 絵本のひろば

平成23(2011)年4月1日から絵本コーナーとして稼働し、平成24年度にこの名称となった。

1階ロビーに設置され、絵本に囲まれた空間で、靴をぬいで絵本を読むことができる。

企画展示及び特別展示・ミニ展示会期中、関連書籍を配置した。また、文学講座や戦後80年、時候に合わせて関連書籍を配置した。

② 常設展関連

常設展を見学しながら答えるワークシート(クロスワードクイズ)を用意。参加者にはシールを贈呈した。

③ 企画展関連

企画展ごとにワークシートを用意。参加者にはしおりやシール、ポストカード、マグネットを贈呈した。

また、記念日等に来館した観覧者にシールやポストカードを贈呈した。

いずれも子ども以外も対象とした。

企画展名	内容等
「百花繚乱！浮世絵×文学」	クロスワードクイズ、線むすび、ぬりえ等
	こどもの日に浮世絵シールを贈呈等
「シゲリカツヒコのえほん ふでさきに おもいをこめて」	文字探しラリー、台詞入れ、ぬりえ等
	土屋文明誕生日前後にポストカードを贈呈等
「愛の手紙－友人・師弟篇－」	クロスワードクイズ、台詞入れ、お手紙コーナー等
	群馬県民の日に文豪シールを贈呈等

(10)ボランティア活動

① 活動分野

- ・ミュージアムショップ…… ミュージアムショップの運営など
- ・ティーサービス……… 和室での抹茶や煎茶のサービス
- ・環境美化……… 清掃など
- ・広報……… 勤務先や近所などへの当館事業の広報、宣伝
- ・おはなしの会……… 当館が実施する文学に親しむためのイベント等において、紙芝居の上演や絵本の朗読などを行う

② ボランティア活動状況

◇ 登録者数154名(令和7年度末現在)

◇ 活動実績

活動分野	活動実績
ミュージアムショップ	毎月1回の定例会の開催、商品の棚卸し・整理をした。10/10、新・保渡田2000番地コンサート「爽籟～五つの声 彩るハーモニー～」(ザ・クイントーンズ)を開催した(178名)。
ティーサービス	実績なし。
環境美化	駐車場等の草刈りを行った。
広報	企画展のチラシ等を配布して広報活動を行った。
おはなしの会	「おはなしの会」を行った。8/11 たこさんのおはなしや／北部小おはなしの会(31名)、8/17 群馬県紙芝居研究会／EBA の会(90名)、10/28 苺ばたけ／蒨えぎの会(43名)。

(11)自主学習会

原則、年10回開催。古典学習会は10月以降中止。

学習会名	講師	参加者数
県立文学館 短歌の会	田村 ^{はじめ} 元氏	17名
県立文学館 短歌相互学習会	(歌人、『NHK 短歌』令和3年度選者、『りとむ』編集委員)	12名
県立文学館 俳句学習会	鈴木 ^{しょうわ} 章和氏	16名
県立文学館 翠句会	(俳人、『 ^{かわせみ} 翡翠』主宰、NHK学園専任講師・NHK ラジオ「文芸選評」選者)	18名
県立文学館 詩の講座	伊藤信一氏 (日本現代詩人会会員、群馬詩人クラブ代表幹事)	9名
県立文学館 絵手紙の会	福田登美恵氏 (日本絵手紙協会公認講師)	6名
県立文学館 古典学習会 源氏物語購読「若紫」を読む	吉永哲郎氏 (源氏物語を読む「 ^{すおう} 蘇芳の会」主宰)	71名
合計		149名

(12)広報活動

① 企画展ポスター・チラシ配布

年3回開催する企画展に合わせて、開催の約3週間前に関係機関に配布して広報した。

(配布先)

県内小・中・高等学校・特別支援学校、県内教育機関、県内外博物館・文学館、県内図書館・公民館、県内書店、包括連携協定締結企業、県内外報道機関、県内観光施設等

② 「土屋文明記念文学講座チラシ」配布

年2回開催する文学講座に合わせて、開催の約2か月前に関係機関に配布して広報した。

(配布先)

県内外文学館、県内図書館、県内書店、県内外報道機関等

③ 「第1回土屋文明記念全国短歌大会ポスター・チラシ」配布

来年度から開始する土屋文明記念全国短歌大会に合わせて、作品募集の約1か月前に関係機関に配布して広報した。

(配布先)

県内小・中・高等学校・特別支援学校、県内教育機関、県内外博物館・文学館・図書館・大学、県内図書

館・公民館・文化施設、県内書店、包括連携協定締結企業、県内外報道機関、短歌雑誌・結社、土屋文明関係者等

④ 「令和8年度事業案内」配布

年度末に配布して、翌年度の企画展や各種イベント等の事業について広報した。

（配布先）

県内小・中・高等学校・特別支援学校、県内教育機関、県内外博物館・文学館、県内図書館・公民館、県内外報道機関、県内観光施設等

⑤ 県メディアプロモーション課関係広報

県メディアプロモーション課が所管する広報媒体「ぐんま広報」、公式SNSを通じて、企画展や各種イベント情報について広報した。

⑥ 県東京事務所関係広報

県東京事務所が所管する首都圏向けPR事業を通じて、企画展や各種イベント情報について広報した。

⑦ 外部情報発信サイトの活用

民間企業等が運営する情報発信サイトを活用し、企画展について広報した。

⑧ 政策形成プラットフォームの活用

ウェブサイト「Poli Poli Gov」を活用し、当館の周知及び運営等に関する意見募集を行った。

⑨ 県内報道機関へのPR

県内報道機関に、企画展や講演会などのイベント情報を提供・取材してもらい、新聞等の活字メディアやテレビ・ラジオ等の電波媒体で報道してもらうよう努めた。

（主な報道機関等）

朝日新聞前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社（ぱれっと編集室、TAKATAI編集室含む）、桐生タイムス社、日本放送協会前橋放送局、群馬テレビ、FM GUNMA、ラジオ高崎、まえばしCITYエフエム等

⑩ 広報誌掲載

タウン情報誌、月刊情報誌、短歌関連雑誌等の広報誌に情報提供した。

⑪ 刊行物の配布

企画展図録等について、県内教育機関、県内外博物館・文学館、県内図書館等に配布した。

⑫ 公式ホームページ

- ・企画展及び関連行事のお知らせ
- ・イベント、土屋文明記念文学講座等のお知らせ
- ・イベント申込受付、通信販売受付
- ・「特別館長日記」更新
- ・所蔵資料検索

⑬ 公式 Instagram

- ・企画展及び関連行事のお知らせ
- ・イベント、土屋文明記念文学講座等のお知らせ
- ・イベント参加募集告知
- ・学校連携事業の報告
- ・記念日や時候に合わせた「今日の土屋文明短歌」の紹介
- ・投稿件数：128件（企画展79件、常設展7件、特別展示9件、資料・書籍0件、館一般33件）
- ・フォロワー数：782人（令和7年度末現在・令和6年度末から97人増）

⑭ 公式 X(Twitter)

- ・企画展及び関連行事のお知らせ
- ・イベント、土屋文明記念文学講座等のお知らせ
- ・イベント参加募集告知
- ・学校連携事業の報告
- ・記念日や時候に合わせた「今日の土屋文明短歌」の紹介
- ・ゆかりの文学者の命日・誕生日情報など
- ・投稿件数：243件（企画展136件、常設展30件、特別展示11件、資料・書籍0件、館一般66件）
- ・フォロワー数：2,179人（令和7年度末現在・令和6年度末から55人増）

⑮ 群馬県公式 YouTube チャンネル tsulunos で動画公開 ※期間限定

- ・千葉俊二氏講演 「谷崎潤一郎の文学 愛と美の万華鏡」
- ・町田康氏講演 「パンクと短歌の距離」
- ・梶よう子氏講演 「江戸の版元と絵師 ―『広重ぶるう』余話」※

- ・穂村弘氏講演 「言葉の不思議」※
- ・石井千湖氏講演 「文豪たちの友情往来：手紙で辿る心の絆」
- ・所属紹介動画 「こんなにすごい！土屋文明」

(13)刊行物の発行

種類	名称	規格	部数
図録	第125回企画展 「百花繚乱！浮世絵×文学」	A4判 24ページ	1,000 部
	第126回企画展 「シゲリカツヒコのえほん ふでさきに おもいをこめて」	A4判 16ページ	1,000 部
紀要	令和7年度 紀要「風」29号	A4判 56ページ	500 部
ポスター	第125回企画展 「百花繚乱！浮世絵×文学」	B2判	470 部
	第126回企画展 「シゲリカツヒコのえほん ふでさきに おもいをこめて」	B2判	600 部
	第127回企画展 「愛の手紙－友人・師弟篇－」	B2判	470 部
	第1回土屋文明記念全国短歌大会	B2判	300 部
チラシ	第125回企画展 「百花繚乱！浮世絵×文学」	A4判 両面	28,000 部
	第126回企画展 「シゲリカツヒコのえほん ふでさきに おもいをこめて」	A4判 両面	60,000 部
	第127回企画展 「愛の手紙－友人・師弟篇－」	A4判 両面	30,000 部
	第7回土屋文明記念文学講座 穂村弘氏「言葉の不思議」	A4判	3,000 部
	第8回土屋文明記念文学講座 小池昌代氏「賢治と朔太郎、くらべ読み」	A4判	3,000 部
	第1回土屋文明記念全国短歌大会	A3判(二つ折り 仕上がりA4)	25,000 部
他	令和8年度 事業案内	両観音折り	20,000 部

6 資料収集・調査研究

(1) 資料収集

(令和7年度末現在)

資料区分	購入	寄附	その他(製作等)	7年度合計	収蔵資料合計
特別資料	1	47	1	49	32,333
雑誌・図書	243	719	0	962	179,688
視聴覚資料	0	0	0	0	257
7年度合計	244	766	1	1,011	
収蔵資料合計	48,770	161,952	1,556		212,278

※合計点数は登録作業済の点数。

◇ 主な購入資料

- ・土屋文明著『葦菴集』土屋文明自筆短歌入り
- ・斎藤茂吉書簡宇野浩二宛土屋文明箱書

◇ 主な寄附資料

- ・土屋文明短歌色紙「うりの皮にて」
- ・伊藤信吉資料一式
- ・雑誌『少女の友』昭和21年10月号
- ・軍隊手帳

(2) 資料の整理・保存管理

① 資料整理

収集した資料等について、調査、登録(資料保存のための装備)、画像データ化(スキャニング・写真撮影を含む)などの作業を行った。

② 保存管理

◇ 施設燻蒸

虫菌害防止対策として、収蔵施設(①収蔵庫・書庫)と展示施設(②常設展示室・③企画展示室)の燻蒸を3年に一度実施している(年1回)。

本年度は、展示施設(常設展示室)の燻蒸を実施した。

◇ 資料燻蒸

令和7年度6月までに収蔵した資料については、施設燻蒸のときに合わせて実施した。

◇ 日常管理

書庫、展示室の状況について、毎日(朝・夕)見回りして確認している。

収蔵庫・書庫、展示室の温湿度計の計測記録について、週に1回確認している。

◇ 資料修理

雑誌『日本詩人』2点、雑誌『高原』2点の修理を行った。

(3)資料貸出

次の1件93点の資料について、借用の申請に基づき貸出を承認した。

貸出資料名	展覧会名	開催期間	展示会場(施設名等)
『雲』箱の図案、詩稿「りんご」、遺品など(93点)	詩人・山村暮鳥展－雲もまた自分のようだ－	4/26～6/29	仙台文学館

※移動展の資料貸出を除く。

(4)資料撮影承認

次の1件2点の資料について、撮影の申請に基づき承認した。

撮影資料名	撮影者(施設名等)
『大調和』発刊主意書、発刊の辞	武者小路実篤記念館

7 利用案内・位置図・交通案内

(1)開館時間

午前9時30分から午後5時まで(観覧受付は午後4時30分まで)

※ただし第1～第3研修室及び和室は午前9時30分から午後9時まで

(2)休館日

- ① 火曜日(祝日の場合は翌日、4月29日から5月5日までの間及び8月15日を含む週を除く)
- ② 年末年始
- ③ 企画展前後の展示替期間
- ④ 燻蒸などの臨時休館日

(3)観覧料

・常設展 一般200円、大高生100円

・企画展 一般500円、大高生250円

※20名以上の団体は2割引

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方と介護者1名、群馬県民の日(10月28日)は無料

(4)施設利用料

文学関係行事等に利用できる。

区分		午前	午後	夜間	1日
		9:30～12:30	13:00～17:00	17:00～21:00	9:30～21:00
施設	企画展示室	2,640円	3,550円	—	6,190円
	第1研修室	1,160円	1,540円	1,540円	4,240円
	第2研修室	1,160円	1,540円	1,540円	4,240円
	第3研修室	1,160円	1,540円	1,540円	4,240円
	和室	610円	830円	830円	2,270円

※付属設備を使用する場合は、別に利用料が必要。

(5)位置図



(6)交通案内

① 自家用車（駐車場 約60台）

- ・関越自動車道前橋ICから約15分
- ・伊香保温泉石段街から約30分

② バス

- ・高崎駅から 群馬バス「しんとう温泉・榛東村役場」行(上郊口・井出経由)
→「保渡田」下車(約20分 便数:開館時間帯は平日2本、土日祝日運休)
→徒歩3分

市内循環バス「ぐるりん(大八木線)」北高先回り

- 「井出町西」下車(約35分 便数:平日、土日祝日とも2時間に1本程度)
→徒歩約20分

関越交通バス「高崎渋川線」または群馬バス「イオンモール高崎線」

- 「イオンモール高崎」下車(約30分 便数:1時間に4～5本)
→タクシーで約10分 または市内循環バス「ぐるりん」かみつけの里線

- ・前橋駅から 関越交通バス「土屋文明文学館」行
→終点「土屋文明文学館」下車(約30分 便数:平日、土日祝日とも2時間に1本程度)

・イオンモール高崎から 市内循環バス「ぐるりん」かみつけの里線

→右回りの場合:「かみつけの里博物館前」下車(約25分 日曜祝日運休)

→徒歩約10分

→左回りの場合:「上郊小学校西」下車(約10分 日曜祝日運休)

→徒歩約10分

③ タクシー

・高崎駅西口から約20分

・前橋駅北口から約25分